

<今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について (2回目)>
前回の地域委員会における主な意見と検討の方向性(案)

1 「広聴の仕組み」に関する主な意見

- ア 生活系の住民の声は区長会等の方が集めやすい 中越山小和寺与川
- イ " の集約はコミュニティ協議会に期待 栃与
- ウ 区やコミセン、民生委員等で意見を集約し、地域委員会・支所と関係する方がよい 中三小和川
- エ 青少年や女性など多様な住民、声の小さな住民の意見などをバランスよく吸い上げる仕組みを望む(座談会やアンケート、SNS活用などを重層的に活用) 中山和与栃川
- オ 意見が検討の俎上に上り着実に市政に反映される仕組みを望む 山

まとめ

- ア 区長会、コミセン等地域住民に密接した組織を活かす
- イ 多様な住民の意見をバランスよく吸い上げる
- ウ あがった意見がしっかりと取り上げられる

2 まちづくりの提案における「検討の仕組み」に関する主な意見

- ア 課題、テーマ、エリアごとにピンポイントでふさわしい人(意識や実行力のある人、専門家など)が検討できる柔軟な仕組みがよい 越三山小川
- イ 幅広い年代で検討できる仕組みが望まれる(融合も含めて) 三栃川山和
- ウ 青少年を含む若者の意見が取り入れられる仕組みが必要 栃与
- エ 懇談会形式などカジュアルで意見がいいやすいメンバーで検討できるとよい 山和川
- オ コミセンに情報が集まる。地域づくりの検討の軸はコミセンに期待 栃寺与川
- カ 地域の枠をまたぐ横断的な検討機能が望まれる 越和
- キ 検討結果が住民に認知され、市政にフィードバックされる仕組みが必要 越山川
- ク 地域のハブ的な中間組織機能(コミセン等)があるとよい 三
- ケ まちづくりやイベントなど新しいことを創造する活動は(任命制ではなく)住民が自発的にやる方がよい 与

まとめ

- ア 課題、テーマに応じた柔軟なメンバー構成で検討できる
- イ 幅広い住民が検討に参加できる
- ウ 気軽に意見を出し合って検討できる
- エ コミセンを軸に地域の一体性を持たせることができる
- オ 検討結果の実現性を高める

3 現在の地域委員会の役割や機能等に関する主な意見

- ア 俯瞰して課題を融合し、地域の未来を含めて検討する仕組みは必要 山小三栃与川
- イ 地域委員会が果たしてきた役割、実績は大きい 栃
- ウ 住民と対話する場(公聴会等)、課題を一緒に検討する場があるとよい 三川
- エ 年齢、性別、職業など幅広い分野、他の地域からも参加できるとよい 越三和
- オ 地域委員会とコミセンのまちづくり部会、町内会との役割の整理が必要 中
- カ 検討結果が実行される仕組みが必要 三与
- キ 合併地域単位の視点からオール長岡の視点に施策を切り替える時期では 越栃
- ク 施策報告の場となっており一定の役割を終えた。区長会、コミセンなどで代替可 中越小寺栃
- ケ 住民に認知されていない。役割と成果を明確に 中三寺川

まとめ

- ア 地域委員会の役割を整理する必要がある
- イ 俯瞰した立場から地域課題を検討する仕組みは必要
- ウ 検討結果を地域内で共有するとともに実行性を高める仕組みが必要
- エ 幅広い分野から委員を選任することが必要

4 地域の現状と課題(地域間の違い)

- ア 連合町内会の有無
- イ コミセンの有無
- ウ 人口減少と高齢化の進み具合
- エ まちづくりの課題(除雪、交通、高齢者見守り、交流事業)
- オ 若者組織の活動量 など

まとめ

- ア 地域ごとに人口や組織、課題に違いがある

今後の検討の方向性(案)

[ポイント]

- (1) 地域特性に応じて柔軟に組織とメンバーを設定できる仕組み
 - 専門性と多様性の両立
- (2) 検討結果が地域住民に認知され、市の政策検討に取り上げられる仕組み
 - 代表性・実行性の強化

1 広聴の仕組みについて

- ア 道路や防災、除雪など生活の課題に関する広聴は、総代会や区長会などでも担うことができる
- イ 世代別、職業別などバランスのとれた意見を集めることができる(座談会、アンケートなど)
- ウ 普段意見を言う機会の少ない人や若い世代、女性なども意見をあげることができる(SNSなど)
- エ あがった意見が市の政策検討に取り上げられる

2 検討の仕組みについて

- ア 地域の特徴(人口、人材、組織、課題など)に沿った検討の場を柔軟に設定し、ピンポイントで検討できる
- イ 座談会、ワークショップなどのように、気軽に意見を出し合って検討できる
- ウ 俯瞰した立場から検討することができ、その検討結果を区長会やコミセンなど地域内の関係者で共有できる
- エ 地域の枠を越えて、様々な個人や団体が柔軟に連携して検討できる
- オ 中学生などを含む多様な世代が共同で検討できる
- カ 検討した内容が地域住民に認知され、市の政策検討に取り上げられる